

八千代市でどれくらいお米が取れるの？

八千代市の総水田面積	431 ヘクタール
上記の内不耕作面積	86 ヘクタール
八千代市作付面積	345 ヘクタール

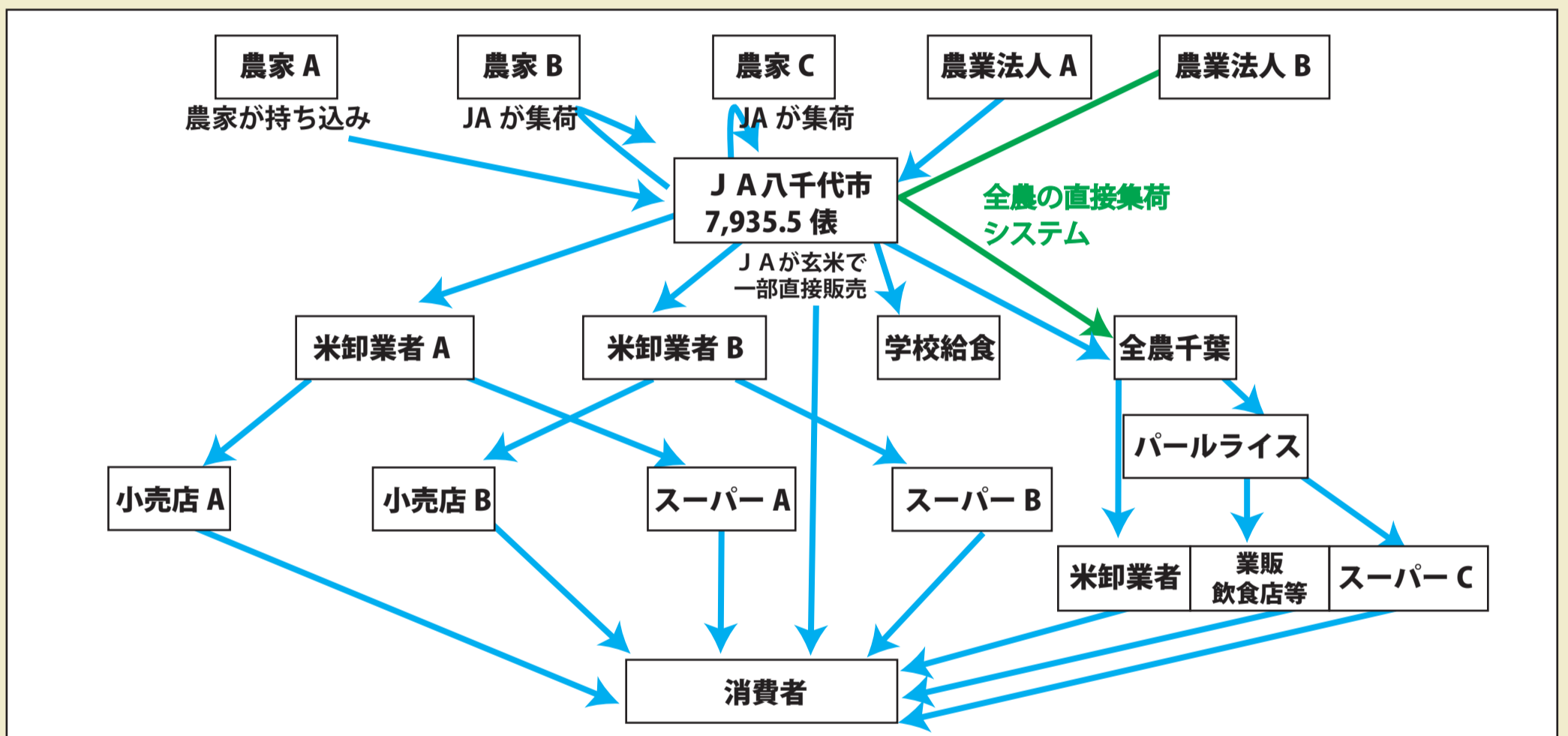
10 アールあたり 8 俵として算出
27,600 俵 (1 俵 60 kg)
1,656 トン



ちなみに J A 八千代市に集荷している米の量は令和 6 年度 7,935.5 俵で、J A 八千代市集積率は 28.8% です。残りの約 70% の米については、自家保有・直接販売されていると見込まれます。

お米が消費者に届くまでの行程は？

J A 八千代市の実際の米流通



米の流通で J A 八千代市が行っていること

1. 農家から J A 八千代市は米を集荷して検査を行います。
2. 持ち込みが出来ない農家に対しては引き上げを行っています。
3. 銘柄等級ごとに、低温倉庫で保管します。一部全農出荷分は即日配送します。
4. 卸業者・学校給食等と販売価格の交渉を行い売り先を決定します。
5. 販売先の需要に併せて随時出荷。
6. 集荷した米の一部は J A 八千代市で直接玄米で販売されます。

農家さんの利益は？

2 ヘクタールの稲作経営で 160 俵が採れたと仮定した場合の米の値段が仮に下記の通りだった場合の農家の利益

1 俵の単価 (仮)	20,000 円	25,000 円	30,000 円
160 俵の売り上げ	3,200,000 円	4,000,000 円	4,800,000 円
生産原価	3,166,240 円	3,166,240 円	3,166,240 円
1 俵あたりの利益	211 円	5,211 円	10,211 円

まとめ

八千代市は 2 ヘクタール以下で作付している農家さんが多いです。そのため、稲作だけでは生計が成り立たないため、野菜等の生産も行っている方が大勢います。米の再生産をするためには、最低でも 1 俵 25,000 円の価格が必要と考えられます。